

おきなわSDGs認証制度 説明会配信：第2回認証団体インタビュー（総合包装株式会社）

インタビュー内容（質問事項一覧）

質問No.	質問分類	質問事項	ご回答
1	団体情報	まず前提として、どのような事業をされているかとSDGsに関する方針を、要約してご教示いただけますと幸いです。	<事業> 弊社は食品包装事業に携わって55年、包装資材・食品容器並びに包装関連機械・食品製造機械等の販売及びメンテナンスサービスを提供しております。 <SDGsに関する方針> 私たちは、企業として、個人として社会課題に目を向け「SDGs」に取り組むことで社会への提供価値を高め、沖縄県の将来を明るくします！
2	認証された取組内容	「おきなわSDGs認証制度」へ申請し認証された、第3号様式のと取組内容について、主要な取組を抜粋してご紹介いただけますと幸いです。	①3R推進及び環境に優しい製品の普及。 ②休日の増加と年収向上（社員の処遇改善で働き甲斐と自己実現を目指し、就業時間7.5時間をキープしつつ、年間休日を増やして余暇時間も充実させながら年収の向上も図る）。 ③就業体験受入れ推進（高校生に学校だけでは得る事が出来ない豊かな人間性や社会性、働く意味や価値や素晴らしさを体験・経験を通して学んでもらう）。 ④生活困窮世帯の子供たちの支援。 ⑤軟包装資材・食品包装容器・食品製造機器・包装機械・物流機器等の販売を通して、沖縄県の観光関連産業とも連携しながら、県経済の発展に寄与し、お客様の喜びや感動を創造する。
3	認証制度への申請に至った経緯	「おきなわSDGs認証制度」へ申請しようと思ったきっかけをご教示ください。 申請を検討する中で、抱えている課題等ございましたか。	<取組のきっかけ> 2014年から「チームマイナス6%」、「チャレンジ25キャンペーン」や「Fun to Share」など、日本独自の取組の温暖化対策や省エネルギーの啓発に賛同し企業として取り組んできたことが、後押しとなりました。 <申請の際の課題> 事務局としての力量不足を痛感し、周囲に助けてもらったこと。
4	申請書作成で感じたこと	申請書作成の際に感じたこと（例：証書情報の準備に時間を要するため、早めに第2号様式に目を通しておいた方がよい等）や、これから申請する団体へアドバイスしたい点があれば、ご教示ください。	①経営者を巻き込まないと完成しない問いが多い。 ②おきなわSDGs認証制度のプラットフォーム事務局とメールでのやり取りが多いので、社内の事務局を担う方は、内勤者が適任だと思います。
5	ヒアリングで感じたこと	事務局からのヒアリングの際に感じたこと（例：取組の詳細について担当者へ都度確認が必要であったため、事前に質問事項への回答を用意しておいた方がよい等）や、これから申請する団体へアドバイスしたい点があれば、ご教示ください。	<ヒアリングで感じたこと> ①聞きなれない用語を理解するのに時間を要した。 ②やってきた取組を証明する「証書」の準備に時間を要した。 <アドバイス> 社内にSDGs認証に向けてプロジェクトチームを作ること。
6	【中小企業】申請全体を通して難しかったこと・解決法	申請書作成～ヒアリングを通して、中小企業の目線で、どこに苦労し、どのように乗り越えたかご教示ください。	①やってきた取組を証明する「証書」の準備に時間を要した。 ②中小企業にはハードルが高いように感じたが、「何とかなる！」との思いで諦めなかったこと。
7	認証されて良かった点	「おきなわSDGs認証制度」に認証されて良かった点をご教示ください。 また、本制度への申請や認証を通じて、会社内で起きた変化についてもご教示ください。	①2025年度（令和7年度）4月にスタートしたばかりですが、年間休日の増加と年収アップを実施できた（社員重視）。 ②障がい者1名を雇用できた（社会との調和）。 ③生産性向上に向けてDX化が加速してきた（独自能力）。 ④デモンストレーションができるショールームの「innovation space」（創造する空間）が完成し、新しい価値やソリューションを生み出していけるようになった（顧客本位）。
8	メッセージ	最後に、これから「おきなわSDGs認証制度」へ申請することを検討している団体の方へ、メッセージをお願いいたします。	「箸よく盤水を回す」の如く、中小企業でも挑戦し諦めなければきっと認証できます。 認証企業のすそ野を広げ、一社一社の小さな努力が、他社にも影響を与え、沖縄県を明るく持続可能な未来へ繋がるよう一緒に取り組みましょう！

以上